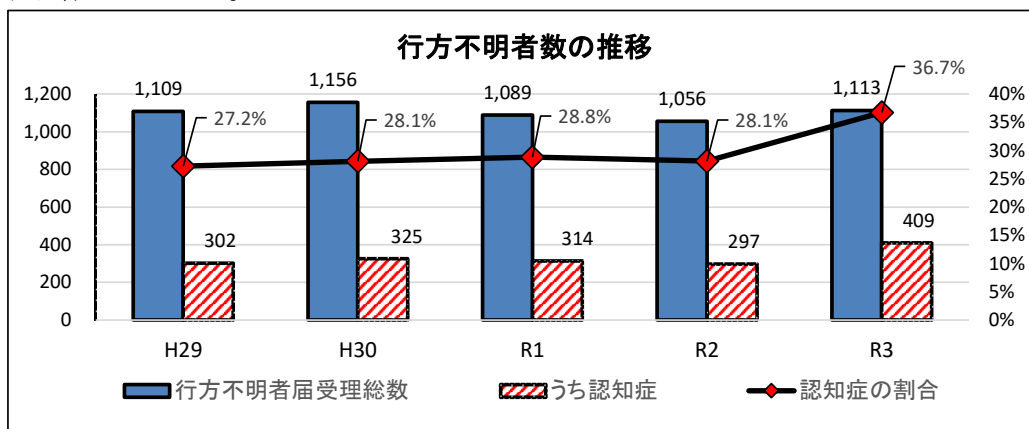


令和3年における行方不明者の状況について

1 行方不明者の状況

- 令和3年中に警察に行方不明者届が出された人の数は1,113人で、前年に比べて57人増加している。
- 男女別では、男性が640人で全体の57.5%、女性が473人で全体の42.5%を占めている。
- 認知症に係る行方不明者は409人で、前年に比べ112人増加しており、全行方不明者に占める割合も増加している。



○ 年齢層別

年齢層別	令和3年	
	件数	構成比
9歳以下	19	1.7%
10歳代	195	17.5%
20歳代	137	12.3%
30歳代	109	9.8%
40歳代	58	5.2%
50歳代	67	6.0%
60歳代	50	4.5%
70歳代	198	17.8%
80歳以上	280	25.2%
合計	1,113	100%

○ 原因・動機別

原因・動機別	令和3年	
	件数	構成比
疾病関係	515	46.3%
うち認知症	409	36.7%
家庭関係	207	18.6%
事業・職業関係	68	6.1%
学業関係	30	2.7%
異性関係	6	0.5%
犯罪関係	4	0.4%
その他	208	18.7%
不詳	75	6.7%
合計	1,113	100%

2 行方不明者の所在確認の状況

- 令和3年中に所在が確認された行方不明者は1,133人で、うち認知症に係る行方不明者は407人
- 認知症に係る行方不明者は、受理当日に71.7%、受理から1週間以内には99.5%が所在確認され、所在確認総数と比較して早期に所在確認されている。

令和3年	合計	行方不明者届受理から所在確認等までの期間								
		受理当日	2日～7日	8日～14日	15日～1か月	1か月～3か月	3か月～6か月	6か月～1年	1年～2年	2年～
所在確認総数	1,133	566	409	17	20	20	18	13	14	56
うち認知症	407	292	113	0	2	0	0	0	0	0